

【AI活用】 コンテンツ制作内製化支援サービス

【課題】AIを導入しても、「コンテンツ制作は楽にならない」

生成AIの登場により、文章そのものは誰でも手軽に作れるようになりました。しかし、そのようなコンテンツは本当に成果につながっているでしょうか？効率的なコンテンツ制作は、以下のような課題もはらんでいます。

01

独自性・専門性が出せない

AIは一般的な情報を網羅することは得意ですが、「自社にしか書けない専門性」や「現場の一次情報」を埋め込むことはできません。競合と似た表面的な内容になりがちです。

02

推敲・校正の工数が減らない

AI出力をそのまま掲載するわけにはいかず、ファクトチェックや不自然な表現の修正に、結局のところ人間が多くの時間を費やしています。

03

AIは企画・構成設計が苦手

ターゲット設定や読者の課題に刺さる設計は、人間の判断が不可欠です。AIに丸投げすると誰にも刺さらない「それっぽい記事」になりがちです。

04

バラついた品質と制作フロー

担当者ごとに多様なプロンプトを使用しており、また、AIが作成した原稿のチェック項目や判断基準も人によりまちまちです。結果として、品質や制作フローの標準化がなされません。

これから求められるのは、AIに文章を書かせることではなく、**AIを活用しながら高品質なコンテンツを効率的かつ継続的に制作できる体制を構築すること**です。

内製・外注、それぞれが抱えるコンテンツ制作の課題

AIを導入しても、コンテンツ制作の悩みはなくなっていない。多くの企業が、内製・外製を問わず、それぞれ異なる課題に直面しています。

既に内製している企業

AIを活用しているが、競合と似たような内容になってしまい、自社の専門性やサービスの魅力が伝わらない。

コンテンツ1本に何時間もかけてしまい、本来の業務が後回しになる。AIを使っても作業が楽にならない。

制作作業が個人商店化してしまう。組織として安定した制作体制が作れていない。

→『内製強化プラン』で解決

制作を外注している企業

1コンテンツが完成するまでに数週間かかり、コンテンツの数を担保できていない

自社の専門知識や最新の業界動向が書き手にうまく伝わらず、やり取りや修正に手間がかかる。

用語説明や一般論止まりのコンテンツばかり増えてしまう。

→『内製移行プラン』で解決

コンテンツ制作内製化支援サービス

内製強化プラン

既にコンテンツ制作を内製化しているが、
制作フローやコンテンツのクオリティに
課題や不安をお持ちの企業様向け



内製強化プラン

「なんとなくAI」から脱却する

プロの伴走支援で、AIを活用しながら自社の専門性が伝わるコンテンツを継続的に生み出せる体制をつくれます。

主な支援メニュー

01



高品質なコンテンツを制作するフロー設計

AI特有の表面的な文章から脱却し、自社の独自性を落とし込める執筆フローを再設計します。

02



プロの制作ノウハウを完全伝授

構成案の作り方、読者を惹きつけるライティング、編集・校正のチェックポイントなど、コンテンツマーケティングのプロ・コンテンツ編集のプロが実践しているノウハウをお伝えします。

03



毎月の添削・レクチャーで品質を磨く

制作したコンテンツを、毎月の「編集会議」でプロが細かく添削・フィードバック。成果につながる品質の感覚を組織全体に定着させます。

04



属人化しない「自走できる仕組み」の構築

誰が担当しても同じクオリティが担保できるよう、制作フローやマニュアルをドキュメント化。支援終了後も社内だけで持続的に回せます。

→ 6カ月の伴走支援でスキルが社内に定着。コンテンツ制作のノウハウを資産として社内に残すことができます。

内製強化プラン

期待できる3つの効果

クオリティの向上、業務効率化の実現、そしてノウハウの蓄積を同時に実現します。



クオリティの向上

自社の独自性が伝わる、差別化されたコンテンツへ

AI特有の表面的な内容から脱却し、「自社の専門知識」や「現場のリアルな事例」を盛り込んだコンテンツに進化。見込み顧客に選ばれるためのコンテンツが制作できるようになります。



業務効率化の実現

制作フローの最適化で、本来の業務に集中できる

AIを最適なフローで組み込むことで制作時間を大幅に短縮。これまで制作に費やしていた時間を、企画・戦略など本来注力すべき業務に充てられます。



コンテンツ制作ノウハウの蓄積

「あのしか書けない」からの脱却、安定した品質を組織の力に

個人スキルやセンスへの依存がなくなり、誰が担当しても安定した品質が保てる仕組みが社内に定着。組織のベーススキルとして、高品質なコンテンツ制作ノウハウが定着します。

内製強化プラン

自走体制を構築する「4つの伴走支援ステップ」

現状分析から自走体制の確立まで、段階的にサポートします。

Step 01



現状分析 & 課題抽出

現在の制作フローと課題を把握

現在の制作フロー、コンテンツのクオリティ、課題を丁寧にヒアリングし、より良い制作体制構築に向けた具体的な改善点を洗い出します。

Step 02



AI活用レクチャー

コンテンツ作成スキルの習得

ターゲット設定や構成案作成のコツ、AIプロンプトを駆使し、高品質なコンテンツを執筆するための具体的な方法と実践スキルの土台を伝授します。

Step 03



実践伴走 & フィードバック

プロが毎月添削・レクチャー

毎月の「編集会議」で制作したコンテンツをプロが細かく添削・フィードバック。成果につながる品質の感覚を磨きます。

Step 04



マニュアル納品 & 自走開始

貴社専用の仕組みを社内に定着

貴社専用AIプロンプトや制作フローのチェックシートをドキュメントとして納品し、自走体制を確立します。

「予算が無いから内製」から「成果を出す内製」へ。従来のコンテンツ制作が短期間でレベルアップできます。

内製強化プラン

6ヶ月間のロードマップ

※ 基本的な進行例です。ヒアリング内容により実際のステップと異なる場合があります。

1ヶ月目

Step 01 現状分析 & 課題抽出

現在の制作フローと記事クオリティをヒアリング。自社に最適な「改善ポイント」を洗い出し

2ヶ月目

Step 02 AI活用レクチャー

構成案作成のコツを学び、AIを駆使した具体的な手法を伝授

3ヶ月目

Step 02-03 実践開始 & プロンプト調整

AIを活用した執筆をスタート。製品・サービスに合わせた「AIへの指示文（プロンプト）」を最適化

4ヶ月目

Step 03 実践伴走 & 記事添削① 編集会議

執筆した記事を添削。「読まれる、成果が出る」ための具体的な改善案をフィードバック

5ヶ月目

Step 03 実践伴走 & 記事添削② 編集会議

添削と修正を繰り返し、クオリティのばらつきを排除。チーム全体の執筆レベルを均一に

6ヶ月目

Step 04 マニュアル納品 & 自走開始

貴社専用のプロンプトと制作チェックシートを「内製化マニュアル」として納品。自走体制を確立

料金プラン

内製強化プラン

プラン	月次費用	対応項目	総額
内製強化 プラン	350,000円/月 ×6ヶ月	<ul style="list-style-type: none">✓ 現状分析✓ AI活用レクチャー✓ 編集会議（2回）✓ コンテンツレビュー✓ プロンプト提供✓ マニュアル納品	2,100,000円

※価格は税抜きです

※ 部分的なご支援や内容のカスタマイズも可能です。ご相談ください。

※初月に一括ご入金可能な場合は、5%お値引きいたします。

コンテンツ制作内製化支援サービス

内製移行プラン

予算やリソース都合で、コンテンツ制作を外注しているが、クオリティや手戻りなどに課題を感じている企業向け



内製移行プラン

外注依存から脱却し、制作力を社内に築く

プロによる伴走で、外注に費やしていたコストと工数を、社内のコンテンツ制作力として蓄積していきます。

主な支援メニュー

01



「AIで最速1本1時間」のノウハウの伝授

リサーチから執筆の大半をAIが担い、人間は最終調整するだけのフローを導入。外注で数日かかっていた作業が「1本1時間」に短縮されます。

02



外注とのやり取りにかかる工数をゼロに

外注先へのインプットや確認・修正依頼といった往復作業がなくなります。企画から公開まで自分たちのペースで進められます。

03



「型」があるから、未経験でも制作可

「構成フォーマット」や「貴社専用AIプロンプト」をセットでご提供。ライティング未経験でも安心してコンテンツを作成できます。自社の独自ノウハウを後から追記することも可能。

04



社内にノウハウを資産として蓄積

高品質なコンテンツの「型」とワークフローが蓄積されるので、担当者やトレンドが変わっても継続できる仕組みが社内に定着。AI時代に不可欠な組織の地力を獲得し、人材育成コストも大幅に削減できます。

→ 6カ月の伴走支援で、AIスキルが社内に定着。自社の力で高品質コンテンツを制作できる体制を構築します

内製移行プラン

期待できる3つの効果

コストの最適化、タイムリーの発信、自社のノウハウ蓄積を同時に実現します。



大幅なコスト削減

外注費を減らし、浮いたコストを別の施策にも再投資

外部のライターや編集への外注費用を削減することが可能となります。
高いコストパフォーマンスで、継続的なコンテンツ発信が可能になります。



リードタイム短縮

企画から公開までのスピードが圧倒的に向上

外注先へのインプットや確認・修正依頼といった往復作業がなくなります。トレンドや市場の動きに合わせたタイムリーな情報発信が実現します。



資産・ノウハウ蓄積

「AI活用で質の高いコンテンツを作るスキル」が組織の資産に

AI時代に不可欠な組織の地力を獲得。担当者が変わっても継続できる仕組みが社内に定着するため、人材育成コストも大幅に削減できます。

内製移行プラン

自走体制を構築する「4つの伴走支援ステップ」

外注の棚卸しから完全内製化まで、プロが段階的にサポートします。

Step 01



外注業務の棚卸し & 移行計画策定

現状整理と移行スケジュールを設定

外注しているコンテンツの種類・コスト・業務量を可視化し、「AIで代替できる領域」と移行スケジュールを明確にします。

Step 02



専用プロンプト & テンプレート構築

AI活用できる制作環境を整備

ターゲット層やトーン＆マナーに合わせた専用AIプロンプトと編集ノウハウを詰め込んだ構成テンプレートをプロが作成・提供します。

Step 03



内製化トレーニング & 実践伴走

実践でライティングスキルを定着

「1本1時間で作成する」課題を通じて実際に執筆を实践。作成したコンテンツをプロが細かく添削し、AIの使いこなし方や編集のコツをレクチャーします。

Step 04



完全内製化 & 自走体制の確立

自走できる組織へ

社内だけで制作できるスキルが定着した段階で外注比率を徐々に下げ、運用マニュアルも納品。

内製移行プラン 6ヶ月間のロードマップ

※ 基本的な進行例です。ヒアリング内容により実際のステップと異なる場合があります。

1ヶ月目

Step 01 現状の棚卸し&移行 計画策定

現在外注している記事の種類やコスト、業務量を可視化。AIで効率化・代替できる領域を明確にする

2ヶ月目

Step 02 専用プロンプト&テンプレート構築

貴社のターゲット層やブランドイメージに合わせた、専用のAIプロンプトと構成案の型を作成

3ヶ月目

Step 02-03 AI活用レクチャー &執筆開始

「1本1時間で作成する」手法をレクチャーします。その後、自社内での制作をスタート

4ヶ月目

Step 03 実践伴走/編集会議&レビュー

貴社で制作したコンテンツを共同でレビュー。より良いコンテンツにするための編集のコツをご提供。編集会議を行うことで、単に原稿に赤入れをするだけでなく、なぜその編集をすべきかという思考法も併せてお伝えします。

5ヶ月目

Step 04 マニュアル納品&完全 内製化

独自の運用マニュアルを納品。社内メンバーだけで安定して運用できる体制を確立

6ヶ月目

料金プラン

内製移行プラン

プラン	月次費用	対応項目	総額
内製移行 プラン	350,000円/月 ×6ヶ月	<ul style="list-style-type: none">✓ 外注棚卸し・AI移行プラン策定✓ AIプロンプト構築✓ 内製化ワークショップ（1回）✓ 記事添削✓ 社内運用ルール策定・マニュアル納品	2,100,000円

※価格は税抜きです

※ 部分的なご支援や内容のカスタマイズも可能です。ご相談ください。

※初月に一括ご入金可能な場合は、5%お値引きいたします。

よくある質問

Q AIを使うと内容が薄くなりませんか？

A 文章すべてをAIに丸投げすると、表面的な内容になりがちです。AIは下書きに活用し、最終的なファクトチェックや専門性の付加は人間が担う「ハイブリッド体制」で高品質を維持します。

Q 未経験者ばかりですが本当に内製化できますか？

A 問題ありません。伴走中にプロンプトのテンプレート化・制作チェックリストと一緒に構築するため、未経験でも自走できます。

Q 「強化プラン」と「移行プラン」どちらを選ぶべきですか？

A すでに自社で書いているなら強化プラン、現在完全外注ならば移行プランをお選びください。
※一部は内製で一部は外注している、といったハイブリッドの場合はご相談ください。

Q 担当者が変わっても継続できますか？

A 伴走中に「自社専用制作マニュアル」を納品するため、担当者が変わってもクオリティを一定に保てます。新人教育にも活用できます。

Q 外注と比べてROIはどうですか？

A 中長期的には内製化をおすすめします。プログラム終了後は「AI利用料＋社内人件費」のみで量産でき、ノウハウも社内資産として蓄積されます。また、既存の内製体制においても、社内リソース（見えない人件費）の最適化につながります。

会社紹介

会社名	株式会社イノーバ
主な事業	✓コンテンツマーケティングの企画・制作・運用 ✓ウェブサイト制作 ✓BtoBマーケティングの全般ご支援
設立	2011年6月28日
代表者名	宗像 淳
資本金	3億2,423万円
所在地	東京都新宿区市谷船河原町9-1 NBCアネックス市谷ビル7階
主要株主	Draper Nexus Technology Partners , Salesforce.com, inc. , 株式会社アイレップ
支援実績	500社以上



まずはお気軽にご相談ください

当サービスの他にも、BtoBマーケティング、ブランディング支援、LLMO/AIO対策、Webサイト制作など幅広くサービスをご提供しています。
是非、ご相談ください。

Contact

お問い合わせ窓口

電話・web

03-4405-7431

受付時間：平日 09:30 ~ 18:30

<https://innova-jp.com/>

メールでの
お問い合わせ

brand-support@innova-jp.com (ブランド支援事業部)

[お問い合わせフォームはこちら](#)

